

とむろいし
戸室石だより

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

百万石メディねっとが稼働しています

金沢医療センター 院長 小島 靖彦



当院は平成18年10月に「かかりつけ医」の先生方と当院担当医が共同で診療にあたる開放病床を設置し、これまで以上に密接な医療連携・連続性のある地域医療の構築に努めてまいりました。お陰様で、これらの取り組みが評価され平成20年4月1日付けで県内初の「地域医療支援病院」の名称使用の承認がえられ、名実ともに「かかりつけ医」の先生方を支援する能力を備えた病院として認められました。

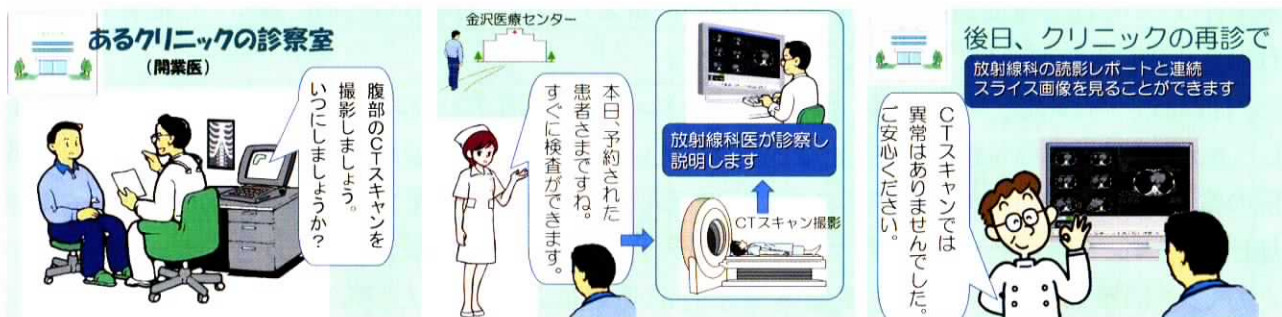
これを機に、さらに踏み込んだ強固な地域医療連携を展開するために、そして高品質で継続性のある医療ネットワークを構築するために、平成20年5月に地域医療連携システム「百万石メディねっと」を導入・稼働させていただきました。このシステムにより、「かかりつけ医」の先生方とオンラインで当院の医療情報が共有でき、患者さんは「かかりつけ医」の先生方の診療所で当院の情報を参考に治療を受けることができることになります。

当院は今後も、実用性の高い「地域医療連携システム」をフルに活用して、「入院治療に重点を置いた、高度な診療機能を果たす急性型病院」としての役割を担い、「かかりつけ医」の先生方、さらには患者の皆様との信頼をさらに深めていきたいと考えています。

どうぞ宜しくお願い致します。



百万石メディねっと
 金沢・ののいち・白山・かほく 地域医療連携システム



ご存知ですか？「百万石メディねっと」

～かかりつけ医と医療センターとの連携プレイのお話～

地域医療連携室長 伊勢 拓之

「医者にかかるなら大病院が安心」そんな考えをお持ちではありませんか？ 確かに、最新の医療機器を備え、専門の医師が診療にあたり、いざという時には入院もできますから安心ですね。しかし、日々の通院ではそれほど頻繁に高度な検査をしたり、入院することはありません。万一の時のために、遠方から時間と費用をかけて通院することは、患者さんにも病院にも負担になります。「百万石メディねっと」は、当院にかかる安心感を損なうことなく、お近くのかかりつけ医の先生の診療も受けていただける、先進的な地域医療連携システムです。以下にその概要をご説明いたします。

まず第1にかかりつけ医から円滑に当院の予約ができます。 かかりつけ医の先生の診察室にあるコンピュータ端末から、インターネット回線を通じて、直接当院の検査、専門外来の予約を取ることができます。これまでも電話予約はできましたが、「百万石メディねっと」では、患者さんのご都合と検査の空き時間を確認しながら、その場で当院の受診日時が決まります。当院では、「百万石メディねっと」で予約された方の優先診療を行っていますので、少ない待ち時間で検査へご案内できます。終了後は当院の専門医が詳しい検査レポートや診察結果に関する情報提供書を作成します。

第2に当院の薬の処方状況、採血やレントゲンなどの検査データ、カルテの記載内容まで、ほぼすべての情報を、患者さんの同意をいただいた上で、かかりつけ医の先生が診察室から参照できます。 もちろんどの患者さんのデータでも見られるわけではありません。当院でご本人の同意が確認できて初めて、その患者さん1人のデータを1人の先生に期間を限って開示します。

このシステムのメリットは、かかりつけ医の先生がご自分で知りたい情報を過去に遡って探せる点にあります。これまでも紹介状に薬の内容や主なデータは記載していましたが、それ以外の情報を入手したり過去のデータとの比較を行うことはできませんでした。開業なさっている先生方はほとんどが大病院に勤務された経験をお持ちですから、「百万石メディねっと」を通じて当院の検査機器を自在に利用し、また当院のデータをご自身の視点から解釈されることで、患者さんには複数の医師の診療を高い水準で受けていただくことになります。当院での入院治療後にお近くのお先生にかかる場合も、入院中の経過をいつでも確認できますので安心です。

カルテ内容まで閲覧できる連携システムは、国内でもまだ数施設でしか稼働していません。いい加減な診療を行っているのは情報公開はできません。当院の医療スタッフは、日頃から根拠に基づいた最善の治療を行い、正確にカルテを記載するよう心がけています。

「百万石メディねっと」の導入は、診療所のコンピュータに専用ソフトウェアをインストールするだけで完了し、かかりつけ医には負担をかけません。情報漏えいに対する対策は最も厳しい基準を満たしており、当院の電子カルテに直接アクセスするものではありません。2009年4月現在33の医療機関がネットワークに参加しています。**「百万石メディねっと」を導入している医療機関のお問い合わせ、ご要望などがございましたら、地域医療連携室までお気軽にご相談ください。**

金沢医療センター糖尿病患者会『兼六会』会員募集中

糖尿病の診断を受けてから治療への戸惑い、合併症への不安など、ひとりで抱えて悩んでいませんか？

『兼六会』は2005年に発足し、今年で5年目を迎えました。患者様とご家族、当院職員のつながりをもつ場となっています。

会を通じて、話し合いや学習をし、糖尿病と上手く付き合っていきましょう。

会員を随時募集しておりますので、興味のある方はご連絡ください。

【目的】 糖尿病の治療及び予防に関する知識の普及と啓蒙を図り、あわせて会員の福祉向上に資することを目的とします。

【主な行事】 ハイキング・調理実習など。
会員様には、毎月糖尿病誌「さかえ」を配布します。

【対象者】 金沢医療センターで診察を受けている糖尿病患者様及びその同居家族。

【年会費】 3,000円

【お問合せ】 独立行政法人国立病院機構金沢医療センター 内科外来・南5病棟



ロビーコンサートだより



第29回ロビーコンサート（3月16日開催）は院内スタッフだけで演奏する自主公演となりました。春一番の暖かい風が吹く日の開催で、プログラムも春の到来を連想させるようなテンポのよい曲が並びました。今回、内科の伊勢先生は、娘の杏佳さんとのピアノ連弾で、チャイコフスキーのバレエ組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」を初披露されました。若いピアニストの登場を、自分の子供や孫を見るように微笑ましくご覧になられた患者さまも多かったようです。

今回3回目のセッションとなった薬剤師・宮川（ピアノ）と泌尿器科医・越田（ヴァイオリン）は、電子ヴァイオリンで葉加瀬太郎の「情熱大陸」を披露し、それぞれ体いっぱい表現し、完全燃焼しました。この「動」の音楽と対比して、より一層の鍛錬が要求される「静」の曲を披露したのは、耳鼻科の瀧口先生で、フルートの名曲・ドビュッシーの「シランクス」を披露されました。また、最後の曲目では、研修医の藤井怜先生が、研修期間最後の思い出に、ロビーコンサートに参加したい、との思いで出演され、ピアノの名曲であるショパンの「英雄ポロネーズ」を披露されました。電子ピアノを弾いていると思えないダイナミックさと速い鍵盤の連打に皆が圧倒されました。

ロビーコンサートでは、先生方のユーモアのあるコメントも見どころの一つですが、越田先生が「これは藤井先生の研修卒業試験を兼ねています。」というジョークに、「今日の演奏は合格と言っていただけではないでしょうか。」と、藤井先生が返しながらか聴衆に尋ねる場面があり、笑い拍手喝采のうちに閉幕しました。（宮川 記）

新任医師のご紹介

当院では他の大規模病院と同様4月に多くの医師が入れ替わります。今年も各科で医師の移動があり、研修医5人を含む21名の医師が4月から着任しました。名鑑風に各医師をご紹介します。

※①氏名 ②大学の卒業年度 ③専門 ④一言、モットーなど



- ①栗田 征一郎
(くりた せいいちろう)
- ②平成10年
- ③内科（内分泌代謝）

④内分泌・代謝、特に糖尿病などの生活習慣病を専門にしています。



- ①関 晃裕
(せき あきひろ)
- ②平成17年
- ③消化器科

④若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



- ①相良 明宏
(さから あきひろ)
- ②平成18年
- ③内科（腎臓/高血圧）

④内科医として精進していきます。
宜しくご指導ください。



- ①原 泰将
(はら やすまさ)
- ②平成17年
- ③消化器科

④



- ①織部 芳隆
(おりべ よしたか)
- ②平成10年
- ③呼吸器科

④丁寧な診療を行っていきたいと思います。
宜しくお願い致します。



- ①池田 景子
(いけだ けいこ)
- ②平成16年
- ③循環器

④一人ひとりの患者さんとよく話し合い、一緒に頑張っていきたいと思います。



- ①小村 卓也
(こむら たくや)
- ②平成13年
- ③消化器科

④ミスをせず頑張ります



- ①松村 昭宏
(まつむら あきひろ)
- ②平成5年
- ③外科

④金沢生まれ、金沢育ちのアラフォーです。
専門は消化器外科です。



- ①堀井 里和
(ほりい りか)
- ②平成16年
- ③消化器科

④最善の医療ができるよう、知識・技術の向上に努めたいと思います。



- ①前馬 秀昭
(まえば ひであき)
- ②平成9年
- ③小児科

④皆様の迷惑にならないよう診療行為を頑張っていきたいと思います。



①水野 和徳
(みずの かずのり)
②平成10年
③小児科

④



①兼田 美紗子
(かねだ みさこ)
②平成21年
③研修医

④一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



①横山 忠史
(よこやま ただふみ)
②平成15年
③小児科

④主に小児時間外救急を担当しています。
よろしくお願いいたします。



①野村 亮介
(のむら りょうすけ)
②平成21年
③研修医

④この病院で多くのことを経験し、医師としての基盤を築きたいと考えています。



①長沖 優子
(ながおき ゆうこ)
②平成15年卒
③小児科

④久しぶりに金沢での勤務になりました。
スマートな医療目指して頑張ります。



①羽柴 智美
(はしば ともみ)
②平成21年
③研修医

④1年間と短い期間ですが、よろしくお願いします。



①土市 信之
(どいち のぶゆき)
②平成18年
③小児科

④4ヶ月ぶりに戻ってきました。
またよろしくお願いします。



①柳瀬 祐孝
(やなせ ゆうこう)
②平成21年
③研修医

④初めまして。研修医の柳瀬です。
良医を目指して頑張っていきたいと思ひます。



①梅原 康次
(うめはら こうじ)
②平成15年
③皮膚科(非常勤)

④患者命!



①三輪 英雄
(みわ ひでお)
②平成21年
③研修医

④初心を忘れずに誠心誠意で医療に努めていきたいと思ひます。



①廣瀬 みずき
(ひろせ みずき)
②平成9年
③耳鼻咽喉科(非常勤)

④性格はゆっくりマイペース型ですが、仕事はしっかり
取り組みたいと思ひます。

皆様どうぞよろしく
お願いします!!



看護部門からのたより

第98回看護師国家試験の結果発表は3月26日木曜日。発表時間は14時。最近ではインターネットで合格発表されるのが主流です。そのため厚生労働省のホームページは大混雑。教員5～6名がアクセスしましたが、5分すぎてもなかなかつながりません。教員室では「心臓がどうにかなりそう！！」と大パニック！しばらくして教務室の中の1台のパソコンが反応！そこに全教員が大集合して食い入るように画面に釘づけになりました。そして並べられた数字を息をのみながら、手を震わせながら一つひとつ読み上げていきました。最後の番号を読み切ったところで、番号にもれがないことを確認。「全員合格!!」 教員室の中に笑顔があふれ、拍手喝采！「やった！すごい！」

合格率100%は学生の努力のたまもの。なにより学校の自慢です。看護の道は厳しくつらいことも多いのですが、実習中に患者様からいただいたあたたかい言葉やまなごしに支えられ、学生は今、看護師という専門職業人としての第一歩を踏み出しました。そして、当校の卒業生の約半数が金沢医療センターで皆様方の看護をさせていただいています。未熟なところは多々あると思いますが、患者様の気持ちに寄り添いたいという思いだけは誰にも負けません。教員一同が太鼓判を押します。これからいろんなことを経験させていただき、看護のエキスパートになることはもちろん、人として大きく成長していくことを私たち教員は願ってやみません。

4月に75名の新人が仲間に入りました！



各病棟6名程配属されています。今年から、「卒後ローテーション ～金沢医療センター方式～」で新人教育を行っていきます。この方式を導入した背景には、地域のニーズに応えられる看護実践能力をもつ看護師の育成が必要だと考えたからです。一定基準の実践ができるよう、配属部署以外の部署での研修を行い、臨床経験の幅が広がるよう組織全体で取り組んでいく方式です。

皆様にとってよりよい看護・ケアを実践できるよう集合教育や現場教育で知識・技術の研修を行っています。現場では、先輩看護師の支援のもと日々努力しております。皆様方からも多くを学び、成長していきたいと希望をもっております。殻から出たばかりのひよこたちがたくさんいます。危なっかしい場面もあるかと思いますが、成長（鳥？）していけるよう、皆様にも教育に参加いただき、温かく・厳しく育てていただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。



～～～ 金沢医療センターの理念及び基本方針 ～～～

【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、安全で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献します。
- 一、病診連携を推進して、地域医療に貢献します。
- 一、医療提供基盤の安定に努め、医療環境の向上を図ります。

担当医一覧表

平成21年 6月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】午前8時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内科	初診	吉村	吉尾/北	周藤	長岡	伊勢	火曜日：初診は隔週交代です
	初診(消化器)	太田(肇)	堀井	小村	関/原	丸川	木曜日：初診(消化器)は隔週交代です
	内分泌・代謝①	能登	長岡	能登	栗田	長岡	糖尿病教室：第1～第4月曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝②		(能登)	栗田			高血圧教室：第2水曜日(15:30～16:30)
	腎・膠原病	伊勢	伊勢	相良	吉村	吉村	
	透析	相良/林(美)	吉村/林(美)	伊勢	相良/林(美)	相良	
	血液	吉尾			周藤	吉尾	
	呼吸器	北	廣瀬	北	織部	廣瀬	禁煙外来：6月毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
消化器①	森本	太田(肇)	森本	太田(肇)	関		
	消化器②	小村	関	丸川	丸川	堀井	
精神科		坂井	小室	杉盛	小室	坂井	
神経内科		新田	坂尻	新田	坂尻	新田	火：物忘れ外来(午前・要予約)
			物忘れ外来(新田)			ふるえ外来(坂尻)	水：頭痛外来(午前) 金：ふるえ外来(午前)
循環器科	一診	佐伯	中村	加藤	中村	中村	初診(毎日)
	二診	小見	阪上	阪上	阪上	小見	
	三診	小島	佐伯	池田	佐伯	池田	
小児科	一診	太田(和)	酒詰	太田(和)	酒詰	太田(和)	予防接種：火・木曜日の14:30～15:30(要予約)
	二診	井上	前馬	横山	長沖	水野	
	専門外来(午前)					酒詰・循環器	午後の専門外来：14:00～16:30(要予約)
専門外来(午後)	太田(和)	水野	太田(和)	酒詰/脇坂	酒詰	酒詰	健診：火・木曜日の13:30～15:00(要予約)
	夜尿外来 アレルギー 水野 神経	1ヶ月健診 予防接種	腎臓疾患 井上 内分泌	循環器/神経 乳幼児健診 予防接種	循環器 太田(和)	膀胱造影	
外科	一診	桐山	(手術日)	桐山	(手術日)	桐山	
	二診	竹川		竹川		竹川	
	三診	黒阪		黒阪			
	五診			小島(第1・第3水曜)			
	六診			初診 松村		初診 松村	
	七診	道輪				道輪	
	乳腺外来	道輪		桐山		竹川	
整形外科	初診のみ	納村	初診のみ	藤巻	初診のみ		
	(当番医)	池田	(当番医)	池田	(当番医)		
	再診	藤巻	再診	納村	再診		
	(手術日)	内藤	(手術日)	内藤	(手術日)		
脳神経外科	一診	池田	池田	当番医	池田	正印	月、水、金曜日：手術日
	二診	赤池	正印/赤池	(手術日)	正印	赤池	火曜日二診は、一週交代です。(10:00～)
呼吸器外科	一診	太田(安)	(手術日)	太田(安)	(手術日)	太田(安)	木(14:00～)パーキンソン病外来(要予約)
二診	守屋		守屋		守屋		
心臓血管外科	一診	再診のみ	遠藤	再診のみ	遠藤	再診のみ	初診(一診)は火・木曜日です。
	二診	(手術日)	川上	(手術日)	松本	(手術日)	
	三診		松本		笠島		
皮膚科	初診/再診	稲沖	西島	稲沖	稲沖	西島	乾癬外来：木曜日(13:30～15:30)
	再診	西島	稲沖	西島	梅原	梅原	
	再診	梅原	梅原				
泌尿器科	一診	越田	越田	越田	飯島	越田	ED外来：第2・4木曜日 14:30～
	二診	石浦	飯島	石浦	石浦	石浦	ストマー外来：第3月曜日 13:30～
		飯島(手術日)		飯島(手術日)		飯島(手術日)	月、水、金曜日：手術日
産婦人科	一診	瀬戸	平林	瀬戸	金谷	瀬戸	妊産婦健診：午前(月～金) 助産師外来：午前(月～金) 火、木曜日：手術日 午後：助産師乳房外来(要予約)
	二診	平林	当番医	平林	当番医	平林	
	三診	金谷	(手術日)	金谷	(手術日)	金谷	
		西		西		西	
眼科	一診	長田	長田	長田	長田	長田	火・木曜日：手術日
	二診		当番医		当番医		
耳鼻咽喉科	一診	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	瀧口	小児難聴：水～木曜日 めまい：火、木曜日 月、水、金曜日：手術日
	二診	荒館	荒館	荒館	荒館	荒館	
	三診				広瀬		
放射線科	一診	斎藤	多田		多田	斎藤	照射の依頼：毎日可
	二診	小林	小林	小林	小林	小林	
	(超音波)	牧田・儀原	多田・小林	大久保・小林	多田・儀原	儀原	
歯科口腔外科	初診/再診	中尾	(当番医)	能崎	(当番医)	小山	
	再診	能崎		中尾		中尾	
	再診	小山		小山		能崎	
	再診	山崎・向		山崎・向		山崎・向	
	再診						
麻酔科	一診	岸植	岸植		岸植	岸植	火、木曜日：手術日 ペインクリニック、術前診察：午前中
	二診	横山	野竹			太田(敏)	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承願います。



食中毒の豆知識



細菌検査室

6月～10月は食中毒の多い季節です。食中毒といっても細菌によるものだけでなく、ウイルス、天然毒によるものなどたくさんあります。平成19年の国内の食中毒発生件数は約1,300件、患者数は約33,000名、死者7名でした。その中でも細菌性食中毒の発生患者数が最も多いのはサルモネラ属菌で、集団発生しやすい原因菌の一つです。ウイルス性によるものはノロウイルスが殆どです。

サルモネラ属の細菌は自然界において、さまざまな動物の消化管内に一種の常在菌として存在し、ヒトの腸管内に感染すると下痢や腸炎を引き起こします。サルモネラによる急性胃腸炎の場合、通常8～48時間の潜伏期を経て発病します。吐き気などの症状から始まり、数時間後に腹痛および下痢を起こし、下痢は一日数回から十数回で3～4日続き、1週間以上続くこともあります。特に老人、乳幼児、免疫が弱まった人は重症化しやすく、急性脱水症や意識障害、けいれん、菌血症を起こします。

対策として食中毒の予防には手洗いが何よりも重要です。調理の前、生ものに触った後、食事の前、どんな時でもまず手を洗いましょう。サルモネラ菌による食中毒の大半が食品の加熱不足が原因で起こります。動物由来の食物は、サルモネラに汚染していることがあるので、生ものや加熱不十分な卵や肉類などには十分気をつけましょう。また、農作物は食べる前に良く洗いましょう。しかし、肉や魚などにどれだけ気をつけてもまな板が汚れては意味がありません。まな板・包丁なども常に清潔にしておきましょう。

その他に、芽が出たジャガイモやテングダケなどのきのこ、フグなどは天然毒素を持っているので注意が必要です。

乳幼児、老人、免疫が弱まった人の食事を準備する際には特に注意しましょう。これから夏場の季節に入りますので、食品衛生に気をつけ、下痢や嘔吐など消化器症状が出現したら早めに受診することをおすすめします。（文責 下坂）

「話題の病気シリーズ」 なっとくのいく話

今後の予定

開催場所：当院地域医療研修センター

第61回 ～どうしましょう・どうしましょう かくれ脳梗塞どうしましょう～
神経内科部長 新田永俊
平成21年6月18日(木) 午後3時から

第62回 ～菌無しにならないはなし～ 歯科口腔外科医師 山崎麻奈
平成21年7月16日(木) 午後3時から

※ 約40分の予定です。一度お聞き下さい。毎回好評ですよ。

編集後記

世間では、新型インフルエンザ・北朝鮮核開発問題等で脅威的ニュース内容が続いているこの頃です。この「戸室石だより」は患者さん向けに当院の最新診療内容等をお伝えする広報誌です。患者さんがこの広報誌をご覧になられて少しでも役立っていただければ編集員冥利に尽きます。今後も患者さんからのお声をお待ちします。(T・O)

発行元：金沢医療センター（〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号）

電話：076-262-4161（18時以降の救急受付；076-262-4163）、FAX：076-222-2758

ホームページ <http://www.kanazawa-hosp.jp/> Eメール admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室（直通番号 076-262-4187、専用FAX 076-262-4188）

編集委員：緒川陽子、沖田光郎、奥村達夫、金子祐子、菊山 譲、北川芳美、越田 潔、周藤英将、仲村恵子、中村由紀夫、西原寿代（五十音順）